

◇平成4年工業統計調査の概要（従業者4人以上の事業所）

平成4年12月31日現在における本県の工業（製造業）の状況を見ると、事業所数は7,256事業所となり、前年に比べ278事業所（3.7%）減少した。業種別にみると、金属製品の1業種で増加したものの、衣服、木材・木製品など他の21業種は、すべて減少した。従業者規模別にみると、30～49人規模、100人～199人規模、300人～499人規模、1,000人以上規模全体で10事業所とわずかに増加したものの、4～9人規模で186事業所など他の規模では大きく減少した。市町村別にみると、東員町、長島町、名張市、島ヶ原村など13市町村で増加し、四日市市、桑名市など47市町村で減少した。なお、市部、郡部別に事業所数の構成比をみると、市部61.6%、郡部38.4%となっている。

従業者数は、228,707人となり、前年に比べ2,543人（1.1%）減少した。業種別にみると、金属製品、化学など9業種で増加し、電気機械、一般機械など13業種で減少した。従業者規模別にみると、300人～499人規模など、事業所数が増加した規模では増加したが、4～9人規模などは、事業所数と同様減少した。市町村別にみると、伊賀町、東員町、菰野町など24市町村で増加し、鈴鹿市、桑名市、阿児町など44市町村で減少した。市部、郡部別に従業者数の構成比をみると、市部66.7%、郡部33.3%となっている。

製造品出荷額は、7兆5,836億4,400万円で、前年に比べ2,217億6,300万円（2.8%）減少した。業種別にみると、食料品、ゴム製品など8業種で増加し、化学、一般機械など14業種で減少した。従業者規模別にみると、20～29人規模、300～499人規模、100～199人規模で増加したものの、他の規模では大きく減少した。市町村別にみると、津市、東員町、久居市など30市町村で増加し、四日市市、鈴鹿市、上野市など39市町村で減少した。市部、郡部別に製造品出荷額等の構成比をみると、市部76.3%、郡部23.7%となっている。

表1. 最近10年間の工業の推移（従業者4人以上の事業所）

（金額単位：百万円）

	事業所数			従業者数			製造品出荷額等		
	実数	対前年比 (%)	平成2年 = 100	実数	対前年比 (%)	平成2年 = 100	実数	対前年比 (%)	平成2年 = 100
昭和58	7,583	106.4	99.1	204,955	103.9	89.7	5,268,160	105.9	70.3
59	7,246	95.6	94.7	204,575	99.8	89.5	5,461,520	103.7	72.9
60	7,517	103.7	98.3	213,283	104.3	93.3	5,748,138	105.2	76.7
61	7,414	98.6	96.9	214,456	100.5	93.9	5,581,029	97.1	74.5
62	7,205	97.2	94.2	214,814	100.2	94.0	5,596,749	100.3	74.7
63	7,622	105.8	99.6	220,684	102.7	96.6	6,203,373	110.8	82.8
平成元年	7,295	95.7	95.4	222,693	100.9	97.5	6,868,076	110.7	91.6
2年	7,650	104.9	100.0	228,487	102.6	100.0	7,496,163	109.1	100.0
3年	7,534	98.5	98.5	231,250	101.2	101.2	7,805,407	104.1	104.1
4年	7,256	96.3	94.8	228,707	98.9	100.1	7,583,644	97.2	101.2

（注）昭和58年～平成3年は通産省確定数、平成4年は県集計の概数である。

